

はじめに

自家用操縦士(滑空機上級)受験のための学科

自家用実技試験課目実施要領準拠(操縦士実地試験実施基準・細則 滑空機)
日本学生航空連盟「2009年指定養成資料」を基に、加盟校資料にて補完して原案作成
2011年6月 日本学生航空連盟指定養成のための教材として再編集
最終改定 2015年1月

自家用学科教育

目的:パイロットとしての基本知識、機長として自分の判断で安全に飛ぶために必要な知識と技術を身につける。

指定養成施設の基準による学科科目は:

1. 運航に必要な知識
 1. 一般航空知識
 2. 航空機の性能、運用限界等
2. 飛行前作業
 1. 証明書、書類
 2. 重量、重心位置
 3. 航空情報
 4. 気象情報
 5. 組立て、飛行前点検
3. 操縦法
 1. 各種空中操作
 2. 緊急処置
4. 航空衛生

教材の構成

<u>学科課目</u>	<u>使用教材</u>
1 運航に必要な知識	1-1 一般航空知識
2 飛行前作業の概要	1-2 機体の性能と運用限界 機長の出発前の確認チェックリスト その他のチェックリスト
2-1 証明書、書類	2-1 航空機の耐空性・整備状況の確認
2-2 重量、重心位置	1-2 重量&重心位置
2-3 航空情報	2-3 航空情報と空域チャート
2-4 気象情報	2-4 気象:全般
2-5 組立て、飛行前点検	2-5 滑空機の組み立て、飛行前点検 各機体のチェックリスト
3 操縦法緊急処置	3-1 自家用実技課目テキスト
4 航空衛生	3-2 サーマルソアリング
	4-1 航空衛生
	4-2 見張りと衝突回避

その他のそろえるべき教材

- 学連グライダースポーツ手帳
- 航空法
- AIM-J最新版
- TCAチャート
- AIP (AIS-Japanのユーザー登録)
 - NOTAM
- 気象情報
 - 気象庁ASUS 過去、現在、予測
 - 高層天気図 850hp
- 使用する機体の飛行規程(コピー)